

## 令和8年度兵庫県立西宮香風高等学校 1学期始業式式辞

皆さん、おはようございます。今日から皆さんと同じ学校で学び、成長していけることをとても嬉しく思っています。新しい学年の始まりは、期待と不安が入り混じる季節です。クラス替え、部活動、勉強、進路…さまざまなことが動き出します。そんな皆さんに、今日は私が大切にしている二つの言葉を紹介したいと思います。それは「謙虚」と「感謝」です。

多くの人は「謙虚」というと、丁寧な態度や控えめな振る舞いを思い浮かべるかもしれませんが、しかし、私が考える謙虚さとは、それだけではありません。自分自身に問い続ける姿勢のことです。「まだ足りないことがあるのではないか」この姿勢を象徴する例として、今年イタリアミラノで行われた冬季オリンピックで活躍したフィギュアスケートの“りくりゅうペア”の言葉があります。彼らは世界の舞台上で大逆転の金メダルの結果を出した後も、「まだできることがある」「もっと成長できる」と語り、成功に満足することなく自分たちを見つめ続けていました。三浦選手はインタビューで、「自分たちはまだ挑戦者。もっと上を目指したい」と話し、木原選手も「今日の演技を超えるために、また明日から頑張りたい」と語っています。これはまさに、謙虚さが人を強くするというを示しています。

皆さんも、テストで良い点を取ったとき、部活動で結果を出したとき、誰かとうまくいかなかったとき、そのどれであっても、「もっとできることはないか」「足りないことがあるのではないか」と自分に問いかける姿勢が、皆さんを確実に成長させてくれます。

りくりゅうペアは、どんな結果のときも必ず「支えてくれた人への感謝」を口にします。三浦選手は、「私たちが滑れるのは、周りの方々のおかげです」と語り、木原選手も「リンクに立てること自体がありがたい」と話していました。うまくいっているときだけでなく、うまくいかないときにも感謝を忘れない姿勢は、皆さんの学校生活にも大切な力になります。朝、学校に来られること、一緒に学ぶ仲間がいること、支えてくれる家族や先生がいること、失敗から学べる環境があること、こうした当たり前のように見えることは、実は当たり前ではありません。見えない陰で支えてくれている人への思いも大切にしてください。

そしてもう一つ、大切にしてほしいことがあります。それは「自分の生命と、他者の生命を大切にすること」です。自分を大切に、周りの人を大切にしながら、この一年を過ごしてください。その思いやりが、学校全体のあたたかさをつくり、みなさん自身を守る力にもなります。皆さんと一緒に学び、成長していけることを心から楽しみにしています。謙虚に自分を磨き、感謝を忘れず、前向きに歩いていく一年にしてください。